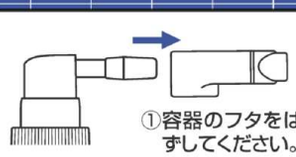
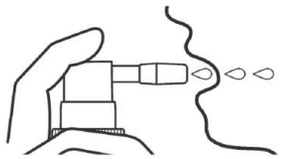
開封年月日
年　月　日
開封時に記入してください

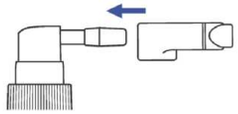
〔使用方法〕



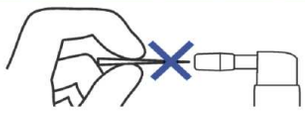
①容器のフタをはずしてください。



②「アー」と声を出しながら頭部を押して、患部に薬液を2～3回直射してください。
※最初は薬液が出るまで4～5回押してください。
※薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。
※温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなることがあります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。



③使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



ノズルの先端を針等で突くと薬液が出にくくなったり、折れた時大変危険です。絶対におやめください。

2305A06

のど スプレー

のどの炎症による
痛み　ハレ　声がれ

ラフェルサ®　第3類医薬品

30mL

あれ
痛み
ハレ
不快感
声がれ
のど スプレー

のどの炎症による
のどあれ・のどの痛み
のどのはれ・声がれ・のどの不快感

4 940233 201095

製造番号
使用期限

第3類医薬品

## ラフェルサのどスプレー

効能・効果　のどの炎症によるのどあれ・のどの痛み・のどのはれ・のどの不快感・声がれ

| 成分・分量　（100mL中） | |
|---|---|
| ポビドンヨード | 0.45g |

添加物としてヨウ化カリウム、ℓ-メントール、還元麦芽糖水アメ、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。
〈成分・分量に関連する注意〉
本剤の使用により、銀を含有する歯科材料（義歯等）が変色することがあります。

### 保管及び取り扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。）(4)薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落としてください。(5)ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出にくくなることがあります。(6)使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(7)温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。(8)火気に近づけないでください。

発売元　グレートアンドグランド株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町2-1-10
お客様相談室　TEL:0744-21-5588
受付時間9:00～17:00(土、日、祝日を除く)
製造販売元:ダイヤ製薬株式会社
〒634-0803　奈良県橿原市上品寺町515
副作用救済制度　☎0120-149-931

紙 箱　プラ 外装フィルム：PP

開封口

第3類医薬品

販売名：ラフェルサのどスプレー

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

### ⚠ 使用上の注意

**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。) 1. 次の人は使用しないでください。本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。2. 長期連用しないでください。

**相談すること**

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3)次の診断を受けた人。甲状腺機能障害。(4) 次の症状のある人。口内のひどいただれ。(5)妊婦又は妊娠していると思われる人。(6)授乳中の人。2. 使用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

| 関係部位 | 症　状 |
|---|---|
| 口 | あれ、しみる、灼熱感、刺激感 |
| 皮　ふ | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 吐き気 |
| その他 | 不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診断を受けてください。

| 症状の名称 | 症　状 |
|---|---|
| ショック（アナフィラキシー） | 使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

3,5～6日間使用しても症状がよくならない場合は、使用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

### 用法・用量

1日数回適量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉(1)定められた用法・用量を守ってください。(2)息を吸いながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルを患部にむけて、軽く息をはきながら、2～3回直射してください。(3)本剤はのどの患部への噴射塗布だけに使用し、傷ややけどへの使用や、内服はしないでください。(4)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。(5)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診断を受けてください。